

志和池地区地域福祉活動計画

みんなの笑顔でつながる未来へ

ほっぷ すてっぷ ^{しゅわ} ^ち 志和っ池！



無病息災・五穀豊穰を願い各家庭を回る「かせだ売り」

令和8年3月

《志和池地区地域福祉活動計画策定委員会の皆さん》



～本当に福祉って奥が深い。だからこそみんなで支え合える志和池へ～

福祉とは、「幸福な生活環境」とあります。
一人ひとりが何かひとつでも考え、行動を起こし、また
自公連、民児協、地区社協や施設や病院、学校など関係
機関の協力を交え、地域が抱えるさまざまな課題の解決
に向けて連携、協働をすることで明るい志和池になると
思います。みんなで助け合い、スローガンである
「みんなの笑顔でつながる未来 ほっぷ すてっぷ
志和っ池」を実現しよう！

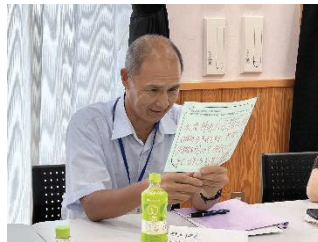


志和池地区地域福祉活動計画策定委員会
委員長 杉村 康博

策定委員会の進め方

第1回

初回は、日頃の活動の中で良かったことや、変化のエピソードを各自発表。その中で1つ選び、大事なキーワードを共有しました。



第2回

初回に出し合ったエピソードをもとに大事にしたい価値や意義をキーワードにして出し合い、整理しました。



第3回

第1回、2回で共有したキーワードや価値をもとに地区社協事業を照らし合わせます。より良く、より楽しい活動にしていくためにどうすれば!?



第4回

これから志和池地区社協では何に取り組んでいく!? そのための「組織体制」「財源」「事務局機能」「拠点」について本音で語り合いました。



第5回

計画内容を最終確認。いよいよ、これからの5年間に向けた計画やスローガンが完成。ここからがスタート!



地区社協のあゆみ①

【経緯】

平成 2 年 志和池地区福祉推進委員会として設立
平成 2 0 年 志和池地区社会福祉協議会へ改称

【受賞歴】

- ・令和 3 年～都城市社会福祉協議会長表彰
- ・令和 4 年～都城市長表彰
- ・令和 5 年～宮崎県社会福祉協議会長表彰

【主な事業】

(1) ふくしなんでも相談窓口の開設

平成 2 0 年から毎週火曜日に毎週 1 回開設。研修を受けた相談員が対応を行っている。さらに令和 7 年度からは開設日を週 2 回に増やし、志和池地区内の困りごと相談を受け止める体制づくりを強化している。

(2) 一館一福祉推進事業

自治公民館単位での福祉活動の推進。住民同士の支え合いやつながりづくりを目指している。

(3) 在宅介護者の集い

在宅で介護をする方のリフレッシュの場として年 1 回開催

(4) 地区社協カレンダー配布

地区社協と志和池地区民生委員・児童委員の周知啓発のために全戸配布

(5) 小中学生年賀状大作戦

毎年、地区内の小中学生が年賀状を作成。完成した年賀状を民生委員・児童委員が担当地区の高齢者等へ配布

(6) 夏休み寺子屋サロン（共催）

志和池地区まちづくり協議会との共催。夏休みに宿題や工作、レクリエーションを通して子ども達の健全な成長を地域で応援

(7) 志和池地区クリスマス会

「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに子育て世帯などを対象に参加者も地域住民も楽しめるイベントを開催

【組織・体制】

会長 1 名、副会長 2 名、事務局長 1 名、第 2 層生活支援コーディネーター、理事 5 名、監事 2 名

【構成】

自治公民館長、民生委員・児童委員、高齢者クラブ、地域ボランティア連協、志和池中 P T A

地区社協のあゆみ②（トピックなど）

トピック①

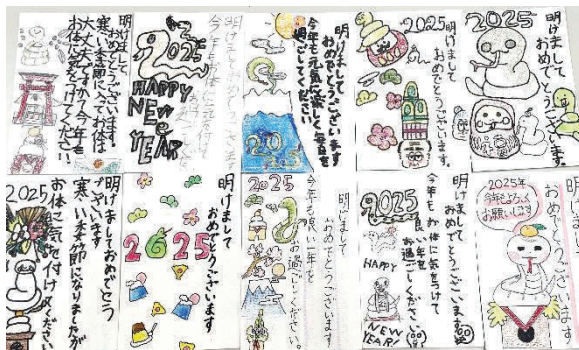
1館1福祉事業の普及・推進

志和池地区社協では、自治公民館内での福祉活動の推進を目指して、一館一福祉事業を推進しています。その中でも住民同士の支え合い活動「有償ボランティア」の充実を目指しています。



トピック②

小・中学生年賀状大作戦

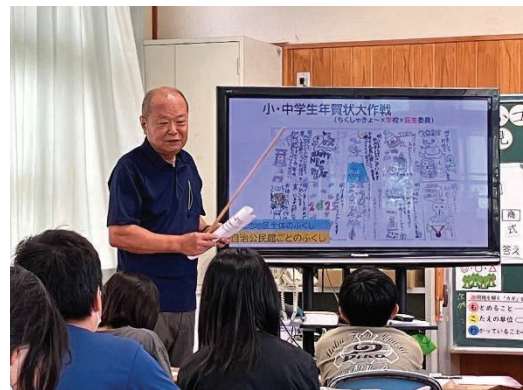


高齢者の皆さまにお届けする年賀状を配布する取組。小・中学生がメッセージやイラストを描き、完成したものを民生委員・児童委員が自宅へお届け！大変喜ばれています。

トピック③

福祉教育の推進

小・中学校へ出前講座。体験のみでなく、福祉や地区社協、地域福祉活動を説明。身近にある福祉を児童・生徒に伝え、顔の見える関係性に繋がっています。



トピック④

志和池地区クリスマス会



令和7年度新規事業。子育て世帯など誰でも参加できる地域の居場所づくりを目指して開催。参加者も地域もみんなが「明るく、楽しく、元気よく！」がコンセプト！

創造の道すじ ～笑顔と安心を生み出す「好循環（サイクル）」～

第5次地域福祉活動計画を策定するにあたり、全15地区で現状の「課題・願望」と未来への「想い」をシートに書き出しました。そこには現場のリアルな熱い想いが詰まっています。

1. 地区の全体スローガン：これから5年間の目指す地区全体の指針とは？

⇒第5回策定委員会（最終回）では、地区全体のスローガンを決めました。

2. 行動指針：地域での活動や取り組みを導く大事な価値観とは？

⇒第1回～2回策定委員会では、「最もすごいチェンジ」を出し合いました



志和池Bグループ

伝統・伝承からの志和池の未来へ

- 主体性**
 - 挑戦、子どもの想い、子どもたちの行動力、主体性、自分の目標、考える力
- 周りの応援**
 - 親の理解
 - 子ども（周りを巻き込む力）
 - 子どもの熱意
 - 子どもからの学び
- チームワーク**
 - お手本
 - 協力性、チームワーク
 - 他の子ども達も良い影響を受ける
 - 高学年が下級生へ導く、バトンタッチ
- エピソード**

水流神社六月灯籠祭り復活（昨年少子化で中止、今年復活!!）危機を感じて希望したのは子どもたち自身！主体性。
- 地域の雰囲気**
 - ・楽しそう
 - ・ほこり
 - ・あこがれ
 - ・先輩をみてカッコいいと思うこと
- 伝統**
 - ・六月灯
 - ・踊りの力
 - ・復活
 - ・棒踊り、活性化
- 自己有用感**
 - ・人のため
 - ・役に立った
 - ・地域のために
 - ・地域の還元
- デジタル化**
 - ・デジタルの活用
 - ・危機（危機感）
 - ・ICT
 - ・同調の良し悪し

横井雄子	志和池市民センター(センター長)
堀之口忠二	郡城市立志和池小学校(校長)
吉行桃枝	地区社室(副会長)民児協会長
長崎孝仁	地区社室推薦(元)地区社協会長

◆第5次都城市地域福祉活動計画「〇〇〇地区地域福祉活動計画シート」（抜粋）

地区全体スローガン	行動指針	活動・事業	課題・願望
みんなの笑顔でつながる 未来へほっぶすてっ ぶ志和(しゅわ)っ池 (ち)！	地域住民が楽しんで笑顔の福祉活動ができるように進めていこう！	1館1福祉事業の推進 志和池地区の19か所の自治公民館において、有償ボランティアや多世代交流など、支え合い活動やつながりづくりなど福祉的な活動を応援するもの。	▲課題 有償ボランティア活動者の育成や広報、周知。 ●願望 全地区で有償ボランティアの普及

これまでの活動を整理し、未来へ向かってどう進んでいくか、「その道すじ（ロジック）」を解説します。

3. 実現に向けて必要なこと：その価値観を大事に、実現に向けて必要なことは？

⇒第3回～4回策定委員会では、「これから取り組むこと」「何が整えば実現できるか」を話し合いました。

【入り口（楽しさ・共感）：人が集まる】

多世代・笑顔・わくわく・サロン・顔見知りを増やす・参加へのハードルを下げる

↓ ここから信頼が生まれる ↓

【深まり（信頼・支え合い）：相談できる】

ちょっとした困りごと・キャッチ・見守り・楽しい場でできた関係性から

↓ これが安心をつくる ↓

【土 台（持続可能な仕組み）：無理なく続ける】

拠点・I T・自主財源

新「地区社協」創造への道すじ

実現に向けて必要なこと

これから取り組むこと

【支え合い体制・人のつながり】
福祉的な支え合い体制（ボランティア）について話し合う。

【拠点整備・環境づくり】
集う場所の整備
公民館をきれいにすることによる防災面での効果

何が整えば実現できるか

- 組織体制（連携機関）
 - ・地区ごとの「互助」を尊重。
 - ・「志和池の困っている人を志和池で支える」。
 - 公民館を超えたニーズに対応に向け組織化。
 - ・活動メインではなく住民同士の話し合いがポイントであることを意識。
- 財源
 - ・一館一福祉事業の助成金を活用。
- 事務局機能
 - ・必要な方へ情報が届くように周知を強化。
 - ・生活支援コーディネーターを含めた調整役が重要。
 - ・次世代を担う 50～60 代の人材を養成。
- 拠点
 - ・拠点のリサーチ、検討

目指す地区社協像

※これ以降を参照

第5次都城市地域福祉活動計画の体系図

第5次都城市地域福祉活動計画 全体スローガン

笑顔でつながり 未来を綾なす 新しい地域

新「地区社協」創造

3つの行動原則

1. 「ゴール」を目指す姿 笑顔が集まる、誰もが主役になれる居場所をつくる
2. 「エンジン」推進力 多様な力とつながり、広がる共感で地域を動かす
3. 「ベース基盤」 小さな「困った」を見逃さず、無理なく支える仕組みをつくる

実現のための4つの創造

1. 組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ
2. 財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ
3. 事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ
4. 拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ

15地区地域福祉活動計画

姫 城／「優気」をもってふれあって 学びあってつながろう 姫城の宝たち ～姫 LOVE 増殖中！～

妻ヶ丘／笑顔で声かけ 未来へつなぐ 妻ヶ丘

小松原／世代をこえて 笑顔でつながる 小松原

祝 吉／未来につなぐ笑顔のまち祝吉 ～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

五十市／誰もが まんなか 活気あふれる いそいち

横 市／みんながつながる横一愛

沖 水／ささえ愛 笑顔でつながる 沖水の和

志和池／みんなの笑顔でつながる未来へ ほっぶ すてっぶ 志和（しゅわ）っ池（ち）！

庄 内／地域を愛し、お互いさまの心でみんなが支え合うまち・庄内

西 岳／西岳1チーム お互いさまで、ほっこりにっこり ～ぼちぼちやっみろかい～

中 郷／みんな元気 笑顔あふれる なかんごう ～こども・未来・絆～

山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で豊かに生きがいを持って生活するために

高 城／未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城

山 田／ふれあい、ささえあい、つながりあう 福祉のまちづくり

高 崎／支えあい未来につながる★きりり★高崎

都城市社協経営基盤強化計画

1. 組織・人材

2. 財政

3. 事業

4. 拠点

MSCのエピソード

○活動を通じて地域でおこった変化「良かったこと」「うれしかったこと」

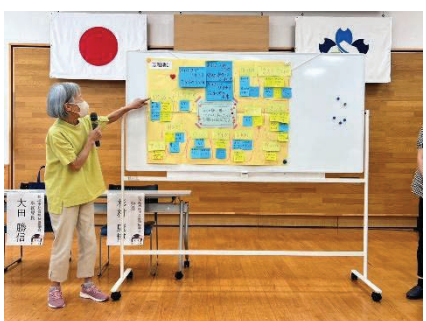
※Most Significant Change (MSC) ≡ 「最もすごいチェンジ」



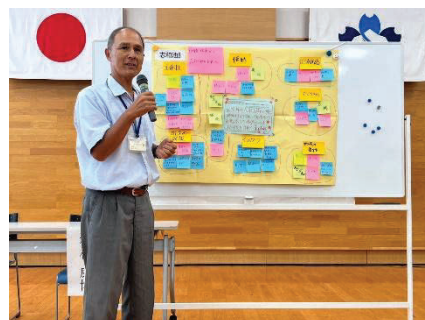
小・中学校での認知症サポーター養成講座を通して正しい理解と地域で支えるために必要なことを学んだ。



地域の中の福祉施設として、日頃から住民さんとのつながりを大切にしたい、誰かの居場所になるように意識している。



日頃のあいさつを一つが見守り、防犯、笑顔、生きがいなど並々ならぬパワーを持っている。



継承が難しかった伝統芸能を子ども達の熱い思いで復活。地元の祭りで披露し、地域住民の心を動かした。

ほかにもこんな素敵なエピソードがありました！

○夏休み寺子屋サロンに延べ 150 名の中学生ボランティアが参加。参加児童のサポートを熱心にしてくれた。大変うれしく、志和池地区の未来の明かりを見た気がした。

○コロナで出来なかった六月灯が開催できた。

○交通安全当番中、子どもが「ありがとう！よろしくお願いします！」と言ってくれたこと。

○卒園した子ども達が中学校の入学式後に制服で来てくれた。成長を見ることができて、嬉しかった。

○福祉について携われている事！

○草刈りをして喜ばれたこと。

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>笑顔で何でも話せる顔 の見える関係をつくっ ていこう！！</p>	<p>①ふくしなんでも相談 地区公民館（週1.5回） ②志和池ふれあい文化祭 への参加協力</p>	<p>【周知・広報・認知向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる場に向けて周知 ・相談事例、連絡先、カレンダー配布等 ・こけない体操等や出張相談 <p>【相談しやすい環境・場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に来られる場に向け名称を検討 ・相談室を利用しやすいように工夫 ・茶話会など愚痴も話せる雰囲気づくり <p>【連携体制・ネットワーク強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職との連携を強化 ・館長や民生委員など関係機関も相談できる体制づくり <p>【アウトリーチ・関係性づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張相談による顔の見える関係づくり ・志和池ふれあい文化祭へ参画 ・日常的な場への参加を通じた信頼関係の構築
<p>笑顔あふれる“顔の見える志和池”をつくっていこう！</p>	<p>③地域と施設との意見交換会 ④自公連、民児協、地区社協との意見交換会</p>	<p>【課題共有・事業への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽出された課題を地区社協事業へ反映 ・会場を福祉施設で意見交換会の開催 <p>【交流・関係づくりの機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いだけでなく交流を深める機会の創出（軽スポーツ等） <p>【継続性・協働の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催について検討 ・福祉教育など協働企画を検討 ・数回開催の検討 <p>【広報・PR・魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協のPR ・地域の魅力発信として福祉施設紹介動画を製作

<p>実現するために必要なこと ①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p>目指す地区社協像</p>
<p>■組織体制（連携機関）</p> <p>○専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども分野：地域子育て支援センター ・障がい分野：基幹相談支援センター ・高齢分野：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） ・その他：学校、司法機関 等 <p>○市民センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談が寄せられる窓口であるため、相互連携を図る <p>○アウトリーチによる連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こけない体操リーダーと連携 ・地域包括支援センターや行政の訪問時に同行 <p>○地域組織との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長、民生委員が相談者と共に窓口へつなぐ体制づくり <p>○広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーによる窓口広報 <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の運営体制を想定した財源シミュレーションを実施 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の役割や「ふくしなんでも相談」の内容を積極的にPR ・自治公民館等に出向き、茶話会を通して不安や悩みを話せる場を整備 ・相談窓口について、親しみのある名称への変更を検討 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事務局を活用した茶話会の開催 ・気軽に来所・相談できる環境づくり（地区社協カフェの実施検討） 	<p>①組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人脈を活かし、幅広い人に声掛けしながら年齢層の厚い組織体制にする ・地区社協担当者の増員 ・学校関係者の役員・理事参入 ・関係機関とつながりのある地域 ・専用事務室の確保 ・有給職員の雇用 ・法人格の取得（NPO 法人、一般社団法人等） ・策定委員会のメンバーを構成メンバーにする ・有償ボランティアの拡大 ・地元企業の参画
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、介護施設、医療機関と継続した連携 ・まちづくり協議会との連携 ・自治公民館連絡協議会（自公連）、民生委員児童委員協議会（民児協） <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化基金の活用について協議・検討 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期の調整および企画立案（複数回開催を想定） ・地域や各団体が抱える課題を共有する場の設定 ・意見交換内容に関するアンケートの実施 ・軽スポーツを取り入れた交流の企画 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 ・福祉施設を会場とした開催（要相談・検討） ・福祉施設の巡回開催（視察を兼ね、相互理解を促進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きやすいポストづくり

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>参加者も地域も笑顔で楽しめる活動や居場所をつくっていきましょう！</p>	<p>⑤参加支援の場づくり ⑥参観日預かり保育 ⑦小中学生年賀状大作戦 ⑧在宅介護者のつどい ⑨志和池中ボランティアとの連携 ⑩こけない体操の推進</p>	<p>【高齢者の参加支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段困難の方が参加支援の工夫 ・高齢者が外出しやすい仕組みづくり ・福祉施設で話し相手や交流の機会づくり <p>【世代間交流・居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子や三世代で参加できるサロン ・ゲーム大会、防災学習、BBQ等の楽しみと学びを通じた交流 <p>【参観日預かり保育の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携した保護者ニーズの把握 ・PTA、育成会との意見交換やアンケート <p>【小中学生年賀状大作戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者宅へ児童も一緒に配布 ・在宅のみでなく施設利用者にも配布 <p>【様々な当事者が参加できるつどいの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護者に限らない取組 ・見学を兼ねた福祉施設での開催 ・気軽に参加できる名称へ改変 <p>【こけない体操の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の楽しめるイベントの実施 ・新規参加促進を目的とした同地区内での複数開催 ・役割当番制（鍵開け等）の参加意識の向上 ・公民館に限らない、近隣での柔軟な開催
<p>子ども達の未来を地域で応援できることを進めていきましょう！</p>	<p>⑩夏休み寺子屋サロン (まちづくり協議会との合同事業)</p>	<p>【運営・実施体制の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会と内容（開催時期・対象・会場等）の再検討 ・丸野小校区での開催検討 <p>【学校・教育機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との意見交換（ニーズの有無など） <p>【学習支援内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題に限らない学習へのチャレンジ ・職業講話や地域学習を取り入れ、進路や将来を見据えた学習支援の実施 <p>【人材確保・サポーター育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志和池地区出身の高校生以上のサポーターへ声かけ

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機関と民生委員・児童委員との連携したボランティアの取組 ・防災意識向上を目的とした防災学習の実施 ・参加者の固定化を防ぐためのグループ再編成の検討 ・新規参加者が参加しやすい雰囲気づくりと仕組みづくり ・小学生から中学生へと継続してボランティア参加できる仕組みづくり ・担い手不足の解消と地域リーダー育成 ・自治公民館単位でのボランティア普及 ・育成会、食改善推進員、壮年層等との連携強化 <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に応じた財源確保の検討 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を通じた個別世帯のニーズ把握と支援 ・未就学児預かりに関するニーズ把握 ・活動ルールの明確化 ・支援者の確保および支援内容の整理・検討 ・自宅でも楽しめる内容（ゲーム、手品、小物づくり等）の企画 ・空調（クーラー）設置等の環境整備について行政等への働きかけ ・中学生ボランティアや小学生との連携強化 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設を活用した取組の検討 ・段階的に自治公民館で開催 ・福祉施設などでの開催 ・自治公民館との連携 	<p>②財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人サポーターの募集 ・協賛企業（スポンサー）の発掘 ・自主財源確保のためのツール開発 ・社協のファンを増やして財源確保 ・サロン等のイベント参加費 ・地区社協の宝くじ（抽選方式の協賛） ・人材を活かした収益事業（演奏、手品） ・物品販売 ・場所、物の貸し出し ・有償サービスの導入 ・忌明け寄付の活用 <p>③事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員の配置 ・相談窓口の多機能化（専門相談会、サロン実施）
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア（教職員 OBOG、他）の確保 ・中学生ボランティアの協力、把握、調査。 <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会予算 ・地区社協予算 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の学習支援のニーズ把握。 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点のリサーチ、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・週5日開設 ・地区社協にボランティアコーディネーターの配置 ・地区担当2人体制 ・ICTの活用（報告書類の簡略化、デジタル化） ・いろいろな事業で企業とコラボ

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>志和池地区社協の活動や魅力を伝え、誰もがほっこり元気になれる広報をしていこう！</p>	<p>⑪地区社協カレンダー配布（翌年度分）</p> <p>⑫地区社協便り発行</p>	<p>【内容・構成の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー内容の工夫（開設日に○印を付ける等） ・興味・関心を持ってもらうための工夫 ・病院や福祉施設の活動紹介の掲載 <p>【親しみやすい広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員の顔が分かるような工夫 ・顔写真や活動写真の掲載 ・民生委員の掲載方法の工夫（裏面） <p>【発行形態・スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行期間の検討 ・年2回発行の検討 <p>【情報発信手法の検討（デジタル含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を踏まえた手法の検討 ・カレンダー配布に代わる方法の検討 <p>【連携体制・制作体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した制作 ・広報委員会の設立検討
<p>生活援助員が笑顔で活動できるようにサポートしていこう！</p>	<p>⑬生活援助員のつどい</p>	<p>【連携体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアとの連携 ・民生委員や高齢者クラブとの連携強化 <p>【広報・制度周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援制度のPR強化
<p>地域住民が楽しんで笑顔の福祉活動ができるように進めていこう！</p>	<p>⑮1館1福祉事業の推進</p>	<p>【支え合い体制・人のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉的な支え合い体制（ボランティア）について話し合う <p>【拠点整備・環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集う場所の整備 ・公民館をきれいにすることによる防災面での効果

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の連絡先を掲載し、情報の充実を図る ・地区社協の活動内容を分かりやすく PR ・学校、福祉施設、各種団体、病院の取組や行事を掲載 <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ増加分については地区社協財源で対応 ・地区社協財源の範囲内での広報・啓発を実施 ・格安なネット印刷会社の活用を検討 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会委員にも地区社協カレンダーを配布 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館、市民センター、各種施設等を配布・設置場所とする ・自治公民館加入の有無を問わず来訪できる場所とする ・デジタル配信等の活用も検討 	<p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアと連携強化 ・民生委員の訪問時にチラシ配布 ・社協だより掲載、口コミ <p>■財源</p> <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館への普及、啓発 ・事例報告や周知 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点のリサーチ、検討 	
<p>■組織体制（連携機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアの組織化のみでなく、地区ごとの「互助」を尊重。 ・「志和池の困っている人を志和池で支える」。公民館を超えたニーズに対応に向け組織化。 ・活動メインではなく住民同士の話し合いがポイントであることを意識。 <p>■財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一館一福祉事業の助成金を活用。 <p>■事務局機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な人に情報が届くように各公民館の総会などで周知を強化。 ・生活支援コーディネーターを含めた調整役が重要で、地区社協内でも情報共有の徹底。 ・次世代を担う 50～60 代の人材を養成。 <p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点のリサーチ、検討 	

地区の風景



しなが
科長神社のからくり花火！

圧巻の迫力！（都城市HPより転載）

策定委員名簿（委員長／杉村 康博 副委員長／黒木 政信）

【策定委員名簿】

No	氏名	所属
1	石川 清澄	志和池地区公民館 館長
2	横井 雄子	志和池地区市民センター センター長
3	佐土原 正次	認定こども園 ししのご幼稚園 園長
4	山下 朝子	こぼとキンダーガーデン園 園長
5	清水 まゆみ	まるのキンダーガーデン園 園長
6	高田 昌彦	志和池さくらんぼこども園 園長
7	松下 綾	都城市立志和池中学校 校長
8	瀬之口 忠二	都城市立志和池小学校 校長
9	関 裕章	都城市立丸野小学校 校長
10	大村 美穂	特別養護老人ホーム ほほえみの園 主幹
11	山田 ゆかり	医療法人社団 仮屋医院 在宅介護支援事業所 管理者
12	二木 李那	志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
13	杉村 康博	志和池地区社会福祉協議会 会長
14	吉行 桃枝	志和池地区社会福祉協議会 副会長
15	竹之下 一美	志和池地区社会福祉協議会 副会長
16	黒木 政信	志和池地区社会福祉協議会 事務局長
17	瀬戸山 みよ	志和池地区社会福祉協議会 第2層生活支援コーディネーター
18	常盤 靖雄	志和池地区自治公民館連絡協議会 会長（地区社協理事）
19	園田 昭一	志和池地区自治公民館連絡協議会 会計（地区社協理事）
20	江平 せつ子	地域ボランティア連絡協議会 会長（地区社協理事）
21	猿澤 保廣	高齢者クラブ 会長（地区社協理事）
22	肥後 秋子	志和池地区民生委員・児童委員
23	宮本 祐子	志和池地区民生委員・児童委員
24	長崎 孝仁	志和池地区社会福祉協議会 推薦
25	吉住 洋一	志和池地区社会福祉協議会 推薦
26	中原 哲郎	志和池地区まちづくり協議会「夢づくり部会」部会長